

# 2年生授業シラバス

教育課程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14  
(平成29年度入学生)

共通教科に関する科目・・・・・・・・・・・・ 15

専門教科に関する科目・・・・・・・・・・・・ 23  
(商業)

ビジネス科 2年（平成29年度入学生）

マーケティング フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
現代文A		世界史A		数学Ⅱ		生物基礎 化学基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語Ⅱ		総合実践		ビジネス実務					マーケティング					ビジネス経済					HR

アカウンティング フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
現代文A		世界史A		数学Ⅱ		生物基礎 化学基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語Ⅱ		総合実践		ビジネス実務					財務会計Ⅰ					原価計算					HR

アドミニストレータ フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
現代文A		世界史A		数学Ⅱ		生物基礎 化学基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語Ⅱ		総合実践		ビジネス実務					ビジネス情報					プログラミング					HR

科 目	現代文A		教 科	単位数	学 科	学年
			国語	3	ビジネス	2
教 科 書	青春文学名作選－歴史の中の青春（教育出版）					
副 教 材	改訂版必携国語総合セミナー（浜島書店） 新訂国語図説四訂版（京都書房） 新漢字練習ノート（浜島書店）					
科目の特色 と 学習の目標	近代(明治)以降の文章を読んで、次のことを目指します。 ・読む力や考える力を高めます。 ・感受性を豊かにします。 ・表現する力を向上させます。 ・読書に親しむ素地を身に付けます。					
年 間 計 画						
前 期	随想「言葉を友人に持とう」 小説「他人の夏」「白鳥」	後 期	小説「悟浄歎異」 詩「夜明け前のさよなら」他 小説「伊豆の踊子」			
	詩「喪失でなく」「死んだ男」 随想「人生」「旅について」 小説「女生徒」		短歌「みだれ髪」「一握の砂」 小説「舞姫」			
学習内容 (授業概要)	「随想」 筆者の個性的なものを見方を読み取ります。 筆者の生き方・考え方を理解します。 「小説」 どんな人物や世界が描かれているかを読み取り 文章表現のおもしろさを味わいます。 人生についての考えを深めます。 「詩歌」 作者の思いを読み取り表現を味わいます。					
評価の観点 評価の方法  右記を総合的 に評価します	・授業の取り組み方（出席状況・授業態度等） ・提出物（授業ノート、課題プリント、長期休暇の課題など） ・定期テスト、課題テスト、授業中の小テストの結果					

科 目	世界史A	教 科	単位数	学 科	学 年
		地理歴史	2	ビジネス	2
教 科 書	世界史A（東京書籍） 標準高等地図－地図でよむ現代社会－（帝国書院）				
副 教 材	アカデミア世界史（浜島書店） 整理と演習 完成ワーク社会（増進堂）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の歴史に関する基礎的内容を理解し、地理的条件や日本の歴史と関連付けさせ理解することを目指します。</li> <li>諸資料などを用い、歴史的事項に関して自分で調べ、整理し、まとめて発表できる能力を身に付けていきます。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>文明の成立と発展</li> <li>アジア諸国の繁栄</li> </ul>	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ近代の確立</li> <li>帝国主義国家の様子</li> <li>沖縄平和学習（大戦と日本）</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大航海以前のアジア、ヨーロッパ世界</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の様子と諸問題</li> </ul>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的事項に関して、興味関心が持てるような視聴覚教材を利用して諸課題の原因を追及するような集団討論等、問題解決型の授業を進めます。</li> <li>沖縄への修学旅行前後には、世界史との関連で太平洋戦争が沖縄に与えた影響について学習します。</li> <li>ビジネス科では、各国の歴史事実について学び、特に中世以降大航海時代が始まり、人やモノの流れについて知り、経済的事項を中心に理解を深めます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況（授業態度、出席状況、挙手発言）</li> <li>提出物（プリント、問題集、ノートなど）</li> <li>定期考査や問題集の確認テストの得点結果</li> </ul>				

科 目	数学Ⅱ		教 科	単位数	学 科	学年
			数学	2	ビジネス	2
教 科 書	高校数学Ⅱ新訂版（実教出版）					
副 教 材	ステップノート 数学Ⅱ新訂版（実教出版） 高校数学Ⅱサブノート（実教出版）					
科目の特色 と 学習の目標	様々な方程式、関数を理解することにより、将来の微分・積分の原理・法則の理解につなげ、事象を数学的に考察し処理する能力を高めます。					
年 間 計 画						
前 期	1章「複素数と方程式」 1節 式の計算 2節 複素数と2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明		後 期	2章「図形と方程式」 1節 点と座標 2節 直線の方程式 3節 円の方程式 4節 不等式の表す領域		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「複素数と方程式」では、数の範囲を複素数まで拡張して方程式を解くことができますようにします。</li> <li>・「図形と方程式」では、座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質を考察します。</li> </ul>					
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に 評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況（出席状況、授業態度）</li> <li>・提出物（テスト直しノート、教科担任による課題、春・夏・冬休みの課題）</li> <li>・定期考査、春・夏・冬休みの課題テスト</li> </ul>					

科 目	生物基礎	教 科	単位数	学 科	学年
		理科	2	ビジネス	2
教 科 書	新編 生物基礎 (啓林館)				
副 教 材	サンダイヤル ワーク生物基礎 (啓林館) 生物基礎実験ノート (ヤツウメ)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。</li> <li>観察や実験を通して、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を養います。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	第1部 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・細胞および生物の構造 ・生命活動での物質の代謝	後 期	第3部 生物の体内環境の維持 ・恒常性の維持 ・ホルモン・神経による調節 ・免疫		
	第2部 遺伝子とその働き ・DNAの特徴 ・DNAの複製 ・タンパク質の合成		第4部 生物の多様性と生態系 ・生態系 ・物質・エネルギー循環 ・生態系のバランス		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性の視点から、細胞の構造と働きを学び、エネルギーと物質の代謝について学習します。 [実験] 顕微鏡観察、発酵、酵素の働きなど</li> <li>遺伝子による生命の連続性とDNAについて学びます。 [実験] DNA模型の製作、唾液腺染色体の観察など</li> <li>体液、ホルモン、神経系による恒常性の維持や、免疫について学びます。[実験] 血球の観察など</li> <li>生物の多様性と、気候や生物の移り変わり、生態系の遷移について学びます。 [実験] 世界のバイオームなど</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席状況・意欲・態度など)</li> <li>仲間と協力して実験・観察・実習に取り組み、記録を取ることができたか。</li> <li>提出物をきちんと出したか。 (ノート、実験書、プリント、課題など)</li> <li>定期考査(4回)、課題テスト、授業中の小テスト</li> </ul>				

科 目	化学基礎	教 科	単位数	学 科	学年
		理科	2	ビジネス	2
教 科 書	高校化学基礎 新訂版 (実教出版)				
副 教 材	高校化学基礎カラーノート 改訂版 (実教出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの生活が豊かで快適なものにするのに、化学がどのように貢献しているのか理解します。</li> <li>観察や実験を通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を身につけます。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	1 物質の構成 ・ 物質の探求	後 期	2 物質と化学結合 ・ 物質の利用		
	2 物質と化学結合 ・ 物質と化学結合		3 物質の変化 ・ 酸と塩基 ・ 酸化還元反応		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の分離方法を実験観察を通して理解し、物質を構成している原子について学びます。</li> <li>化学結合を学習することで粒子間に働く力について学びます。</li> <li>私たちの生活の中で利用されている様々な物質の性質について学びます。</li> <li>酸と塩基の性質、種類や反応について学びます。また酸化還元反応についても学びます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に主体的に取り組んでいるか。 (出席状況・意欲・態度など)</li> <li>仲間と協力して実験・観察・実習に取り組み、記録を取ることができたか。</li> <li>提出物をきちんと出したか。 (ノート、実験書、プリント、課題など)</li> <li>定期考査(4回)、課題テスト、授業中の小テスト</li> </ul>				

科 目	体 育	教 科	単位数	学 科	学年
		保健体育	2	ビジネス	2
教 科 書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副 教 材	なし				
科目の特色と学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。</li> <li>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</li> <li>・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	体育の授業について 体づくり運動 集団行動 体育理論	後 期	バスケット、陸上（男子） テニス、陸上（女子） サッカー、陸上（女子） 体育理論		
	ソフトボール（男子） バドミントン（女子） ダンス（女子） 体育理論		サッカー、ダンス（男子） ダンス、サッカー、（女子） テニス、バドミントン（女子） 体育理論		
学習内容 （授業概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育を学習する意味を理解し学習意欲を高めます。</li> <li>・集団の約束や、決まりを身に付けます。</li> <li>・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握します。</li> <li>・試合等を通して種目の楽しさを味わいながら課題を設定し、その解決に向けて練習を工夫します。</li> <li>・チームに応じた作戦を立て試合ができるようにします。</li> <li>・ダンスの特性を理解しイメージやテーマを全身で表現し、リズムに乗って踊る楽しさを味わいます。</li> <li>・体育を学ぶことで運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を築いていることを理解します。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組んでいるか。（運動技能、参加意欲、授業態度、出席状況等）</li> </ul>				



科 目	保健	教 科	単位数	学 科	学年
		保健体育	1	ビジネス	2
教 科 書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副 教 材	現高等保健体育ノート（大修館書店）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人及び社会生活における健康安全について理解を深めます。</li> <li>・生涯を通して自らの「身体的・精神的健康管理」を考え、改善していくための資質や能力を育成します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶	後 期	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き		
	加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度・医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策		食品と環境の保健と私たち働くこと・労働災害と健康 健康的な職業生活		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解します。</li> <li>・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の心身に及ぼす影響を理解します。</li> <li>・高齢者の健康課題や総合的対策について理解します。</li> <li>・医療保険の仕組みを理解します。</li> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因、健康への影響を理解します。</li> <li>・環境汚染防止について理解します。</li> <li>・食品の安全と私たちの役割について理解します。</li> <li>・働くことと健康の相互影響について理解します。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組んでいるか。 （参加意欲、授業態度、発表、出席状況等）</li> <li>・提出物をきちんと出したか。 （授業ノート、プリント等）</li> <li>・定期考査の成果（前期期末、学年末）</li> </ul>				

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ		教 科	単位数	学 科	学 年
			外国語	3	ビジネス	2
教 科 書	VISTA English Communication Ⅱ (三省堂)					
副 教 材	New エキスパート英語検定練習問題集 2級 (桐原書店) プレップイングリッシュ (旺文社)					
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション英語Ⅰの学習によって身に付けた基礎基本を元に、より高度な英語を習得することを目標にします。</li> <li>・身のまわりの話題から、地球規模の環境問題に至るまでの様々な題材を取り上げ、読む、書く、話す、聞くといった技能をバランスよく高めます。</li> </ul>					
年 間 計 画						
前 期	LESSON 1 Birthdays, Here and There		後 期	LESSON 3 The Sagrada Familia LESSON 4 Nobel Prize Episodes		
	LESSON 2 The Emerald Isle			LESSON 5 Flowers in the Tomb		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス科においては、簿記、コンピュータ等に関連した経済及び産業で扱うような英語表現を授業に盛り込み、より社会的な視点を踏まえ、各課の題材を学習します。</li> <li>・各課の冒頭に「達成目標」を明示し、言語の働きを詳細に学習することで、実際における言語の使用場面に役立てるようにします。</li> <li>・ノートをしっかりとすることで達成感を得られるようにします。</li> <li>・類例なども可能な限り提示することで、基礎基本を応用する能力を養います。</li> </ul>					
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況 (出席状況、授業に対する意欲、態度等)</li> <li>・提出物 (授業ノート、課題プリント、長期休業における課題等)</li> <li>・定期考査、授業時の小テスト</li> </ul>					

科目	総合実践 (マーケティング)	教科	単位数	学科	学年
		商業	2	ビジネス	2
教科書	なし				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新版総合実践 同時同業法を中心として (実教出版)</li> <li>・よくわかる販売士3級Part 1、Part 2 (一ツ橋書店)</li> <li>・インターンシップノート・総合実践ノート</li> </ul>				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテールマーケティング(販売士)検定3級を目指します。</li> <li>・POP広告について基礎的な知識や技術を学び、自らテーマを設定してPOP広告を作成します。</li> <li>・インターンシップを実施し、職業について考え、社会人としてあるべき姿を学びます。</li> <li>・同時同業法を通して、企業間取引の一連の流れを理解します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテールマーケティング検定小売業の種類マーケティング</li> </ul>		後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテールマーケティング検定ストアオペレーションマーケティング、販売・経営管理</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POP広告について、外部講師による指導を受け、実際に作成する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー</li> <li>・インターンシップの実施</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテールマーケティング(販売士)検定3級の学習を通じて、ビジネスに直結した知識、能力を身に付けます。</li> <li>・POP広告作成の技術を習得します。</li> <li>・ビジネスマナーの知識と技術を習得します。</li> <li>・職業について学び、自分の進路探究に取り組みます。</li> <li>・インターンシップに向けて、販売実習について学びます。</li> <li>・同時同業法を実習して、企業間取引の一連の流れを学び、必要となる書類を作成する力を身に付けます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物(プリント・課題・ノート)の状況</li> <li>・実習状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>				

科 目	総合実践 (アカウンティング)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	2	ビジネス	2
教科書	なし				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新版総合実践 同時同業法を中心として (実教出版)</li> <li>・合格テキスト日商簿記2級 商業簿記 工業簿記 (TAC出版)</li> <li>・合格トレーニング日商簿記2級 商業簿記 工業簿記 (TAC出版)</li> <li>・模擬試験問題集 全商1級会計 (実教出版)</li> <li>・模擬試験問題集 全商1級原価計算 (実教出版)</li> <li>・インターンシップノート ・総合実践ノート</li> </ul>				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日商簿記検定2級の補充</li> <li>・「会計」「原価計算」の補充</li> <li>・インターンシップの実施</li> <li>・同時同業法を通して、企業間取引の一連の流れを理解します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	日商簿記検定2級の補充	後 期	日商簿記検定の補充 インターンシップ事前学習		
	日商簿記検定2級の補充		「会計」「原価計算」の補充		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「会計」「原価計算」の授業を補います。</li> <li>・アカウンティングフィールドの目標設定を理解し、前向きに取り組む姿勢を学習します。</li> <li>・インターンシップに向けてマナーについて学びます。</li> <li>・同時同業法を実習して、企業間取引の一連の流れを学び、必要となる書類を作成する力を身に付けます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物 (プリント・課題・ノート) の状況</li> <li>・実習状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>				

科 目	総合実践 (アドミニストラ)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	2	ビジネス	2
教科書	なし				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新版総合実践 同時同業法を中心として（実教出版）</li> <li>・情報処理検定試験模擬問題集 プログラミング部門 2級（実教出版）</li> <li>・インターンシップノート ・総合実践ノート</li> </ul>				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VBAのプログラミングを通して、プログラミングの基礎的な知識・技術を身に付けます。</li> <li>・基本的なプログラミング技術を身に付け、プログラムの流れ（アルゴリズム）を自ら考え、仕様通り動くプログラムを作成します。</li> <li>・インターンシップの実施</li> <li>・同時同業法を通して、企業間取引の一連の流れを理解します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング（VBA）の基本的な手順 順次・選択・繰り返し</li> </ul>	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線形探索と配列</li> <li>・全商情報処理検定（2級） 対策問題演習</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの集計・平均の処理</li> <li>・最大値・最小値</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ事前学習</li> <li>・インターンシップの実施</li> <li>・同時同業法</li> </ul>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VBAのプログラミングを通して、全商情報処理検定2級に合格できる能力を養います。</li> <li>・基本的なコンピュータ用語を理解し、IT分野の基礎的な知識を身に付けます。</li> <li>・インターンシップに向けてマナーについて学びます。</li> <li>・同時同業法を実習して、企業間取引の一連の流れを学び、必要となる書類を作成する力を身に付けます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物（プリント・課題・ノート）の状況</li> <li>・実習状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>				

科 目	ビジネス実務	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	4	ビジネス	2
教 科 書	ビジネス実務新訂版 (実教出版)				
副 教 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全商ビジネス文書検定模擬問題集1級 (実教出版)</li> <li>・全商珠算電卓検定模擬問題集1級 (実教出版)</li> </ul>				
科目の特色と学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス実務に関する知識と技術を学習し、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化や重要性について理解します。また、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を養い、実習を通して技術を習得します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通計算の基礎 (電卓)</li> <li>・ビジネス計算</li> <li>・伝票</li> </ul>	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の組織と人間関係</li> <li>・ビジネスマナー 電話応対</li> <li>・ビジネスコミュニケーション</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス文書</li> <li>・企業と税</li> <li>・消費税</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人税</li> <li>・オフィス業務</li> <li>・ビジネス英語</li> </ul>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電卓の計算方法を学習し、資格取得を目指します。</li> <li>・企業の組織と意志決定との関係や流れを理解できます。</li> <li>・挨拶、受付案内、電話対応等のマナーを、実習を通して身に付けます。</li> <li>・オフィス環境の整備と資料管理の方法を学習します。</li> <li>・法人税額の計算や確定申告の作成方法を理解します。</li> <li>・英語によるコミュニケーションの意義や役割を理解し、基本的英会話を習得します。</li> <li>・ビジネスの実用的な英会話や文書作成方法を習得します。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算能力と技術</li> <li>・ビジネス計算の知識・理解</li> <li>・ビジネス英語の関心・意欲、表現</li> <li>・定期考査の結果</li> <li>・学習状況 (出席状況・身なり・授業への参加意欲・レポート、日誌等の提出物)</li> </ul>				

科 目	マーケティング (マーケティング)	教 科	単位数	学 科	学 年
		商業	4	ビジネス	2
教科書	マーケティング 新訂版 (実教出版)				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング 新訂版 問題集 (実教出版)</li> <li>・全商商業経済検定模擬試験問題集 1・2級マーケティング (実教出版)</li> <li>・リテールマーケティング (販売士) 検定3級問題集 Part 1、Part 2 (一ツ橋書店)</li> </ul>				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国商業高等学校協会主催「商業経済検定」マーケティング部門と日本商工会議所主催「リテールマーケティング (販売士) 検定」3級の合格を目指して学習します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	1 現代市場とマーケティング 2 市場調査 3 消費者行動	後 期	7 販売価格 8 販売経路		
	4 販売計画 5 製品計画 6 仕入計画と商品管理		9 販売促進		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングの意義や役割及び市場環境の変化に対応したマーケティングの在り方について学びます。</li> <li>・効果的なマーケティングを行うための知識と技術を学びます。</li> <li>・全商商業経済検定試験2級 (マーケティング部門)、及び日商リテールマーケティング (販売士) 検定試験3級に合格するよう問題集を利用して理解を深めます。</li> <li>・マーケティングに興味をもたせるために事例を多く取り上げ、わかりやすい言葉で詳しく説明します。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物 (プリント・課題・ノート) の状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>				

科 目	ビジネス経済 (マーケティング)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	4	ビジネス	2
教科書	ビジネス経済 (実教出版)				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス経済問題集 (実教出版)</li> <li>・全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級 ビジネス経済A (実教出版)</li> </ul>				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得します。</li> <li>・基本的な経済のしくみについて、調査研究をふまえながら理解します。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	イントロダクション 1 市場と経済 2 需要と供給		後 期	4 経済成長と景気循環	
	3 価格決定と市場の役割			5 経済政策	
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア教材を有効活用し、経済動向・経済事象について学習します。</li> <li>・基本的なマイクロ経済理論 (市場経済メカニズム、経済状況) について学習します。</li> <li>・基本的なマクロ経済理論 (景気変動や経済政策) について学習します。</li> <li>・経済に関する自ら意見を適確に表現する能力を身に付けます。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物 (プリント・課題・ノート) の状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>				



科 目	財務会計Ⅰ (アカウンティング)		教 科	単位数	学 科	学年
			商業	4	ビジネス	2
教科書	新財務会計Ⅰ新訂版(実教出版)					
副教材	合格テキスト日商簿記2級 商業簿記 (TAC出版) 合格トレーニング日商簿記2級 商業簿記 (TAC出版) 合格ドリル日商簿記2級 商業簿記 (TAC出版) 全商簿記検定1級会計模擬問題集(実教出版) 標準検定簿記問題集 全商1級会計(東京法令出版)					
科目の特色 と 学習の目標	・財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てます。					
年 間 計 画						
前 期	・財務会計の基礎 ・貸借対照表(資産・負債・純資産) ・損益計算書(費用・収益)		後 期	・財務諸表の活用 ・連結財務諸表 検定対策 ・総合演習 検定対策		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計の意味と役割を理解します。</li> <li>・財務会計の機能と会計公準を理解します。</li> <li>・企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし、一般原則の内容を理解します。</li> <li>・貸借対照表の役割や区分表示、様式など、その概略を理解します。</li> <li>・損益計算書の役割・区分などを明らかにします。</li> <li>・損益計算の意味と収益・費用の認識や測定基準について理解します。</li> <li>・売上高を計上する基準、売上原価の意味と販売費および一般管理費の種類について理解します。</li> <li>・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解します。</li> <li>・財務諸表の作成とそれを分析する能力を身に付けます。</li> </ul>					
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席状況や提出物(プリント・課題・ノート)の状況</li> <li>・検定取組状況</li> </ul>					

科 目	原価計算 (アカウンティング)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	4	ビジネス	2
教 科 書	原価計算新訂版 (実教出版)				
副 教 材	合格テキスト日商簿記2級 工業簿記 (TAC出版) 合格トレーニング日商簿記2級 工業簿記 (TAC出版) 合格ドリル日商簿記2級 工業簿記 (TAC出版) 全商簿記検定1級原価計算模擬問題集 (実教出版) 標準検定簿記問題集 全商1級原価計算 (東京法令出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得させ、原価について理解させるとともに原価計算から得られる情報を活用する能力を身に付けます。</li> <li>・ 実社会での即戦力として活躍するため、正しく、丁寧に記帳する習慣を身に付け、帳票をまとめ、問題演習に進んで取り組みます。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	【原価計算の基礎】 【原価の費目別計算】	後 期	【工程別総合原価計算】 ・ 製品の完成・販売と決算 ・ 製品の完成と販売 【標準原価計算、直接原価計算】		
	【原価の部門別計算と製品別計算】 ・ 個別原価計算 ・ 部門別個別原価計算 ・ 総合原価計算		【日商簿記検定試験 2級】 【全商簿記検定受験 1級】		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業簿記における勘定の記入の特徴を理解し、工業簿記の一連の記帳手続きを学習することにより、全体的な構造を理解します。</li> <li>・ 単純個別原価計算のしくみを理解します。</li> <li>・ 総合原価計算の種類と全体的な手続きの流れを理解します。</li> <li>・ 原価計算の基本的考え方と計算法及び工業簿記の記帳法を習得し、原価についての理解を深めます。</li> <li>・ 原価を中心とする会計情報を活用する能力と態度を養います。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 出席状況や提出物 (プリント・課題・ノート) の状況</li> <li>・ 検定取組状況</li> </ul>				

科 目	ビジネス情報 (アドミニストレータ)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	4	ビジネス	2
教 科 書	ビジネス情報新訂版 (実教出版)				
副 教 材	全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報部門 1・2級 (実教出版) 全商情報処理検定試験パスポート 1級ビジネス情報編 Excel2010・2012 (東京法令出版)				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てます。</li> </ul>				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスと情報</li> <li>情報通信ネットワークの活用</li> </ul>	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースソフトウェアの活用</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアの活用 全商情報処理検定 2級</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェアを活用したシステム開発 全商情報処理検定 1級</li> </ul>		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関する情報を処理するために必要な情報通信ネットワークの導入及び表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得します。</li> <li>情報通信ネットワークやソフトウェアの活用及び簡易なシステムの開発をします。</li> <li>情報を効率的に処理することの重要性について理解するとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育成します。</li> </ul>				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績</li> <li>授業態度</li> <li>出席状況や提出物（プリント・課題・ノート）の状況</li> <li>検定取組状況</li> </ul>				

科 目	プログラミング (アドミニストラ)	教 科	単位数	学 科	学年
		商業	4	ビジネス	2
教 科 書	最新プログラミング (実教出版)				
副 教 材	学習と検定全商情報処理検定テキスト2級 プログラミング部門 (実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集 プログラミング部門2級 (実教出版) 3級情報技術検定試験 標準問題集 (全国工業高校長協会)				
科目の特色 と 学習の目標	・プログラム言語を通じて、課題や目的に応じて、必要な情報を主体的に収集、判断、表現、処理、創造し、受け手の状況に応じて発信、伝達できる能力を身に付けていきます。				
年 間 計 画					
前 期	プログラミングの基礎 ・プログラミング言語の特徴 ・アルゴリズムの表現技法	後 期	・配列の考え方 ・配列による集計		
	・オブジェクト指向の考え方 ・クラスとメソッド		・プログラミングの知識 ・データベースの利用 全商情報処理検定 2級		
学習内容 (授業概要)	・プログラミング言語の特徴や仕組みについて理解するとともに、アルゴリズムやプログラミングに関する知識と技術を身に付けます。 ・簡単なプログラムを作成できるようにするとともに、ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理し、コンピュータを効率的に活用する能力と態度を身に付けます。 ・実習課題を通して、生徒の創造性や論理的な思考力をさらに深めます。				
評価の観点 評価の方法  右記を総合的に評価します	・定期考査や課題テスト、小テストを中心とした成績 ・授業態度 ・出席状況や提出物（プリント・課題・ノート）の状況 ・検定取組状況				